

豚の投薬早期隔離離乳による清浄化技術

S P Fに代わる豚の清浄化法として、投薬早期隔離離乳（MEW）の5日齢離乳の実施により、特定伝染性疾病がほぼ清浄化され、S P Fと同等の効果がある。また、豚の衛生状態が良くなり発育成績も向上した。このことから、MEWは疾病の清浄化に有効であることの指標を得た。

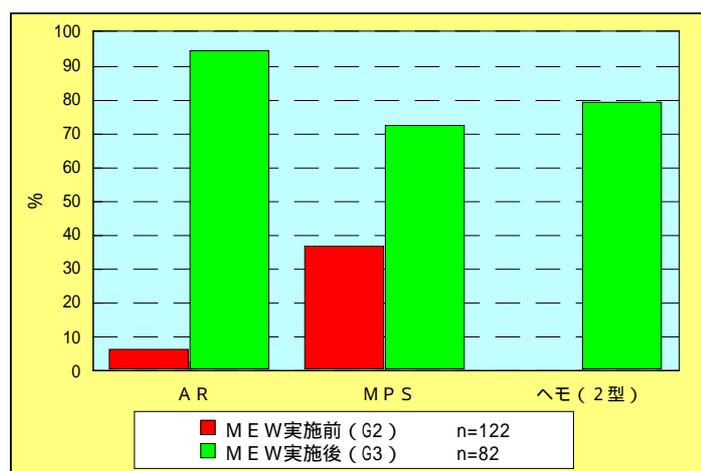


図1 MEW実施前後の抗体陰性割合

母豚から子豚への疾病の垂直感染を防ぐため、早期離乳（5日齢）を行った。MEWの実施により、代表的な慢性疾病であるAR（豚伝染性萎縮鼻炎）、MPS（マイコプラズマ性肺炎）、ヘモフィルス肺炎について、抗体陰性の割合が改善され清浄化が図られた。

	体重 (Kg)			人工ほ育中 事故率 (%)	1日平均 増体重 (g) (DG)
	生時	2週	4週		
慣行法	1.35	4.35	7.90	-	928
MEW	1.40	3.40	9.00	2.1	990

表1 MEW実施前後での発育変化

MEW実施後の豚の発育は、人工ほ育の影響で2週齢体重において慣行法を下回るが、4週齢には慣行法を上回り、DGは約7%程度改善された。また、人工ほ育中の事故率は2.1%と低い。

作業内容	人工ほ育器 の洗浄消毒	人工乳の 調整給与	ほ育室の 洗浄消毒	子豚の 餌付け	合計
作業時間 (分)	2.5	0.9	0.5	1.2	5.1

表2 人工ほ育に要する労働時間（子豚1頭当たり）

5日離乳で人工ほ育を行う場合、子豚1頭当たり5.1分/日の労働力が増加し、うち約50%が人工ほ育器の洗浄消毒に係る労働力である。

	代用乳	人工乳	母豚分	抗生剤	合計
慣行法	-	1,438	875	-	2,313
MEW	1,693	1,873	381	390	4,337

表3 MEWに要する経費（子豚1頭当たり） 単位:円

MEWに要する経費は、子豚1頭当たり4,337円と試算され、慣行法の約1.9倍である。